

より「高精度」に、より「安全」に

市立旭川病院の新しい装置は、これまでの機種より安定性と安全性がさらに向上しているだけでなく、ミリ単位の高精度な治療を短時間で正確にできるようにしました。腫瘍に当たる放射線を増やしつつ周囲の正常組織に当たる放射線を減らす事で、副作用を減らし治療効果を上げ、さらに患者さんの負担の少ない治療が可能になっています。

コンピューターの急速な進歩の恩恵を受け一気に進歩した医療分野と言えます。



放射線治療の特徴

小腸や大腸などを除く多数のがんの治療に使用されます。照射方法や放射線量を調整する事で根治から症状緩和まで幅広い目的で行えるのが特徴です。

通院の負担軽減と、進化する前立腺がん治療

■通院と入院について

放射線治療は、多くの方が通院で受けられる治療です。

- 通院治療が基本**：治療単独であれば、ほとんどの方が通院可能
- 入院が必要な方**：遠方からの患者さん、化学療法を併用される方、高齢で通院が困難な方では当院で全体の20～30%

■前立腺がんへの対応と治療期間の短縮

近年、男性のがん患者数1位となっている前立腺がんに対し、当院では高精度な放射線治療に加え、ロボット手術、最新のホルモン療法、化学療法、緩和医療まで全ての進行度の患者さんに対応しています。当院を受診していただければ、ご希望の治療、切れ目のない治療を院内で完結して提供いたします。また、治療期間を短縮することで患者さんの負担を減らしています。

前立腺がん

7週間 ▶ 短期治療 4～5週間

乳がん温存手術後

5週間 ▶ 短期治療 3週間

以前は困難だった「骨盤のリンパ節転移がある前立腺がん」の根治治療も、**標準治療として提供可能**になりました。

■高度な治療

ハイパーアーク（定位放射線治療）

道北で唯一、**10個程度の脳転移へ同時治療が可能**です。これにより、これまで数か月の余命と制限されることが多かった脳転移の方でも、1年2年と元気に生活できる方がいます。

■治療を支える専門職員

当院では、専門医、医学物理士、放射線治療専門技師、がん放射線治療看護認定看護師など、最新の治療計画システムと高精度の放射線治療により患者さん一人一人に合わせた治療を自信を持って提供しております。



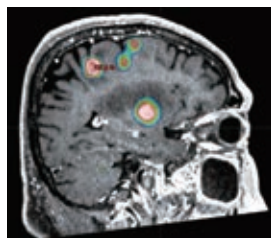
市立旭川病院放射線治療科医師 **川島和之さん**

■健診のご案内

定期的ながん健診や人間ドックは、病気を早期に発見するための大切な機会です。万が一の際は、当院で安心して治療を受けられる体制を整えております。病気の早期発見・治療のため、かかりつけ医に相談の上、当院の健診をご利用ください。



詳細はこちらから



▲前立腺と骨盤リンパ節（上）、ハイパーアーク（下）の治療計画

市立旭川病院公式YouTubeチャンネルでも紹介中！
（0：54より）



市立旭川病院の 最新の治療装置のご紹介と 放射線治療と

日本は高齢化に伴い、今や2人に1人ががんになり3人に1人ががんで亡くなっています。一方で、がん患者の3分の1が受けている放射線治療は、中年以上の親子家族であれば誰かが経験する可能性が高い「身近な治療」です。高齢で手術や化学療法に耐えられない方が増える中、重要な選択肢となっている放射線治療について、最新装置を交えて紹介します。【詳細】市立旭川病院 24・3181